

## IASB 討議資料「リース—予備的見解」へのコメント対応と今後の作業計画

### 1. 背景

IASB は、2009 年 3 月 19 日に討議資料（DP）「リース—予備的見解」を公表し、2009 年 7 月 17 日までコメントを募集している。この DP は、現行のリース会計基準に対する批判（ファイナンス・リースとオペレーティング・リースという 2 つの会計モデルを有しており、特にオペレーティング・リースがオフバランス処理されている点）に対応するため、新しいリース会計基準におけるアプローチ案を要約したものである<sup>1</sup>。

IASB は、この DP に寄せられた意見を参考に審議を継続し、2010 年上半期に公開草案（ED）を、また、2011 年上半期に最終基準（Final）を公表する予定である。

### 2. 目的及び今後の進め方

「リース」は IASB と FASB の MoU 項目の 1 つとして位置付けられているプロジェクトであり、上記のとおり、新しいリース会計基準は 2011 年上半期に最終基準（Final）を公表する予定とされている。

したがって、その適用時期は 2011 年 6 月 30 日後になることが予想されるため、日本基準と IFRS とのコンバージェンスという最終目標を達成するために、ASBJ と IASB は、新たなリース基準が適用となる際に日本において国際的なアプローチが受け入れられるよう緊密に作業を行うことが、2007 年 8 月の東京合意で確認されている。そこで、今般 IASB から公表された DP に対して、ASBJ からコメントを提出するとともに、その後の IASB における審議においても、随時必要なインプットを行うこととしたい。

なお、IASB のリース・プロジェクトに関する一連の対応はリース会計専門委員会で行うことが、2008 年 9 月公表の「ASBJ プロジェクト計画表」で明示されている。

### 3. 今後の作業計画（案）

- (1) リース専門委員会で 2009 年 7 月 17 日までにコメントを作成し、IASB に対して送付する。
- (2) IASB における審議状況を踏まえて、我が国のリース会計基準と IFRS とのコンバージェンス作業を進める。

以 上

---

<sup>1</sup> このほか、リース会計におけるさまざまな問題点に関する予備的見解の提示や、新しいリース会計基準の公表前に検討を要するその他の問題点の言及などがなされている。